

平成26年度活動状況報告

〔活動の概要〕

原子力事業所安全協力協定「平成26年度年間活動基本計画」に基づき、活動推進幹事会の開催、自主保安に係る点検協力活動、安全教育に係る協力活動、情報交換に係る協力活動を通じて、協定加盟事業所の施設の安全確保と従業員の資質の向上を図るとともに、安全意識の高揚に努めた。

また、通報訓練を主体とした総合訓練を行うとともに、緊急事態発生時の対応体制の整備を行い、東海ノア協定ホームページ、広報誌「東海ノア通信」を活用し、原子力事業所の安全に対する取り組みの紹介に努めた。

1. 安全協力委員会の開催〔2回〕

(1) 第31回安全協力委員会

〔開催日〕 平成26年10月17日（金）

〔議 題〕

- 1) 第30回安全協力委員会議事録について
- 2) 平成26年度上期活動状況及び下期活動計画について
- 3) 加盟事業所の近況報告について



第31回 安全協力委員会

(2) 第32回安全協力委員会

〔開催日〕 平成27年3月18日（水）

〔議 題〕

- 1) 第31回安全協力委員会議事録について
- 2) 平成26年度活動状況報告について
- 3) 平成27年度年間活動基本計画について
- 4) 原子力事業所安全協力協定の読み替え並びに安全協力協定運営要項の改訂について
- 5) 加盟事業所の近況報告について



第32回 安全協力委員会

2. 活動推進幹事会の開催（4回）

(1) 第67回活動推進幹事会

〔開催日〕 平成26年6月27日（金）

〔議 題〕

- 1) 第66回活動推進幹事会議事録について
- 2) 原子力事業所安全協力協定役員等の変更について
- 3) 平成26年度 第1回自主保安点検協力活動計画について



第67回 活動推進幹事会

- 4) 平成 26 年度 第 1 回安全教育研修計画について
- 5) 平成 26 年度 原子力事業所自衛消防隊研修会計画について
- 6) 平成 26 年度 総合訓練実施計画について
- 7) 東海ノア通信第 56 号の発行について

(2) 第 68 回活動推進幹事会

〔開催日〕 平成 26 年 9 月 24 日 (水)

〔議 題〕

- 1) 第 67 回活動推進幹事会議事録について
- 2) 原子力事業所安全協力協定委員等の変更について
- 3) 平成 26 年度 自主保安に係る点検協力活動について
- 4) 平成 26 年度 安全教育に係る活動について
- 5) 平成 26 年度 情報等の交換に係る協力活動について
- 6) 平成 26 年度 緊急事態を想定した協力活動訓練について
- 7) 平成 26 年度 上期活動状況及び下期活動計画について
- 8) 東海ノア通信第 57 号の発行について



第 68 回 活動推進幹事会

(3) 第 69 回活動推進幹事会

〔開催日〕 平成 26 年 12 月 22 日 (月)

〔議 題〕

- 1) 第 68 回活動推進幹事会議事録について
- 2) 平成 26 年度 自主保安に係る点検協力活動について
- 3) 平成 26 年度 安全教育に係る協力活動について
- 4) 平成 26 年度 情報等の交換に係る協力活動について
- 5) 東海ノア通信第 58 号の発行について
- 6) その他 (原子力事業所安全協力協定読み替え及び運営要項改訂について)



第 69 回 活動推進幹事会

(4) 第 70 回活動推進幹事会

〔開催日〕 平成 27 年 3 月 5 日 (木)

〔議 題〕

- 1) 第 69 回活動推進幹事会議事録について
- 2) 前回幹事会以降の活動状況について
- 3) 平成 26 年度活動状況報告 (案) について
- 4) 平成 27 年度年間活動基本計画 (案) について
- 5) 東海ノア通信第 59 号 (案) の発行について
- 6) その他 (原子力事業所安全協力協定の読み替え並びに安全協力協定運営要項の改訂について)



第 70 回 活動推進幹事会

3. 自主保安に係る点検協力活動

(1) 平成26年度 第1回

〔実施日〕 平成26年7月23日（水）

〔対象事業所〕 日本原子力発電株式会社東海発電所・東海第二発電所

〔点検協力実施者〕

- ・原子燃料工業（株）
- ・日本核燃料開発（株）
- ・積水メディカル（株）

〔活動の概要〕

点検活動は、現場巡視確認及び点検シートに基づいた質疑・応答形式で進められ、質疑・応答の中では、

- ① 安全確保のための基本的考え方
- ② 安全文化醸成活動の具体的な取組み
- ③ 法令改正情報の入手方法及び事業所規則等の改正手続き
- ④ 教育訓練の実施状況及び理解度の確認方法
- ⑤ 緊急時連絡方法・マニュアルの整備状況
- ⑥ 放射性廃棄物の一時保管状況、整理整頓の状況等

等についての意見交換を行い、考え方や取組み状況等を確認した。

点検実施協力者からの自主保安点検活動結果の感想として、「非常によくやられているとの印象を持った。特に通報関係について、ここまでやらなければならないとは大変だと感じた。」「シッカリ保安活動が実施されていると感じた。」「大変勉強になった。設備面での安全管理、人的面での教育と万全な体制がとられていると感じた。」などが述べられた。



(2) 平成26年度 第2回

〔実施日〕 平成26年11月20日（木）

〔対象事業所〕 三菱原子燃料株式会社

〔点検協力実施者〕

- ・核燃料サイクル工学研究所
- ・核管理センター東海保障措置センター
- ・ニュークリア・デベロップメント(株)

〔活動の概要〕

点検活動は、現場巡視確認及び点検シートに基づいた質疑・応答形式で進められ、質疑・応答の中では、

- ① 安全確保のための基本的考え方
- ② 安全文化醸成活動の具体的な取組み
- ③ 法令改正情報の入手方法及び事業所規則等の



改正手続き

- ④ 教育訓練の実施状況及び理解度の確認方法
 - ⑤ 緊急時連絡方法・マニュアルの整備状況
 - ⑥ 緊急時の対策所・現場指揮所の整備状況
 - ⑦ 放射性廃棄物の保管状況、整理整頓の状況等
- 等についての意見交換を行った。

点検協力実施者からは、

- ①現場は清掃が行き届き、区画管理線で区画されているなど良く整備されている等、全体によくやられているとの印象をもった
- ②防災ルームに過去の失敗改善事項が掲示されている等、参考になることがあり勉強になったが、管理区域境界での脱衣場所のレイアウトには一考の検討を奨励する
- ③計画や対応等が良く対処できており、勉強になった等の感想が述べられた。

対象事業所責任者からは、

- ①今後も継続して取り組んでいかなければいけないと思っていること
- ②管理区域境界の脱衣所については意見を参考に取り組む旨の挨拶があり、終了した。



防災ルーム



区画管理線

4. 安全教育に係る協力活動

(1) 安全教育研修の開催

1) 平成26年度 第1回は諸般の事情により中止した。

2) 平成26年度 第2回

〔開催日〕 平成27年3月19日(木)

〔場所〕 日本原子力発電 東海総合研修センター

〔参加者〕 7名/4事業所

〔講師〕 日本原子力発電 東海総合研修センター講師
日本原子力発電 東海・東海第二発電所
渉外・広報GM

〔研修カリキュラム〕

(講話) 東海第二発電所の近況について

(実習) ①シミュレータによる運転体験

②身の周りの放射線測定体験

(見学) 東海第二発電所フルスコープシミュレータ



シミュレータによる運転体験

(2) 講演会の開催

協定加盟事業所が開催する講演会のうち公開可能な講演会について、加盟事業所への開催案内を行い、他事業所からの聴講者を募り実施した。

1) 安全講演会の開催

- 〔開催日〕 平成26年7月4日(金)
〔場 所〕 原子力機構 核燃料サイクル工学研究所
アトムワールド 講堂
〔演 題〕 「過去の負傷災害に学ぶ ～サイクル研の事例を中心として～」
講師 核燃料サイクル工学研究所
保安管理部 水谷 啓一 安全対策課長
〔参加者〕 8名/4事業所(全参加者数約160名)



講演会の様子

2) 安全講演会の開催

- 〔開催日〕 平成26年7月17日(木)
〔場 所〕 原子力機構 原子力科学研究所 先端基礎研究
交流棟 会議室
〔演 題〕 「ミスはどこまで話せるか?
～ヒヤリ・ハットが報告しやすい職場をつくる
極意～」
講師 コミュニケーションアドバイザー/マネージャー
瀨川 文子 氏
〔参加者〕 14名/7事業所(全参加者数160名)



講演会の様子

3) 防火・防災管理講演会

- 〔開催日〕 平成26年11月6日(木)
〔場 所〕 原子力機構 原子力科学研究所
先端基礎研究交流棟 大会議室
〔演 題〕 「火災現状と最近の動向」
講師 保安管理部危機管理課
(元ひたちなか・東海広域事務
組合東海消防署長)
富永 広志 氏
〔参加者〕 11名/6事業所
(全参加者数186名)



講演会の様子

4) 品質月間講演会

- 〔開催日〕 平成26年11月12日(水)
〔場 所〕 原子力機構 原子力科学研究所
大講堂
〔演 題〕 『「品質の東芝」に向けた活動』



講演会の様子

～これまでの活動とこれからの取組み～』

講師 (株)東芝 品質推進部 品質技術担当
黒沼 陽一郎 氏

〔参加者〕 5名／3事業所（全参加者数191名）

5) 品質月間講演会

〔開催日〕 平成26年11月14日（金）

〔場 所〕 原子力機構 核燃料サイクル工学研究所
アトムワールド講堂

〔演 題〕 「管理監督者の人為ミス未然防止法」

講師 (社)長野コンサルティング
センター所長 執行理事・主席
コンサルタント

中山 賢一 氏

〔参加者〕 18名／9事業所（全参加者数137名）



6) 防災講演会

〔開催日〕 平成27年3月11日（水）

〔場 所〕 原子力機構 核燃料サイクル工学研究所 アトムワールド講堂

〔演 題〕 「3.11を忘れるな！」

講師 茨城県立消防学校長
齋藤 亨 氏

〔参加者〕 10名／4事業所（全参加者数153名）



(3) 自衛消防隊研修会の開催

今年度で第6回目となる本研修会は、参加対象者を自衛消防隊の班長若しくは補佐クラス相当として募集し、午前は座学、午後は総合訓練（実技）を実施した。

なお、県原子力安全対策課副参事、規制庁規制事務所長及び防災専門官が視察され、マスコミではNHK、茨城新聞、産経新聞、東京新聞の取材があった。

〔開催日〕 平成26年9月10日（水）

〔場 所〕 茨城県立消防学校

〔参加者〕 24名（14事業所）

〔講師・指導員〕

- ① 講師 4消防本部 9名
(ひたちなか・東海広域事務組合消防本部、那珂市消防本部、大洗町消防本部、鹿行広域事務組合消防本部)
- ② 指導員 4原子力事業所 7名
(原子力科学研究所、核燃料サイクル工学研究所、大洗研究開発センター、日本原子力発電)

〔座学〕

- ① 自衛消防隊について
- ② 総合訓練について

〔総合訓練〕

指揮隊（含支援隊）、消火隊、救出隊に分かれて、実放水を含む火災防御・救出訓練を実施

(想定：平屋事務所より出火、延焼中。事務員2名逃げ遅れ。)



総合訓練 (校庭)



5. 情報交換に係る協力活動

(1) 事故トラブル情報の配信

協定加盟事業所等より提供いただいた情報については、年間活動基本計画「情報交換に係る協力活動」に基づき、協定加盟全事業所に配信した。

1) プレス発表された事故、トラブル情報の提供

事業所	事象発生日	件名
日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所	平成26年 7月12日	原子力コード特研建屋屋外の仮設発電機における火災について
日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター	平成26年 7月29日	固体廃棄物前処理施設(WDF)の居室冷房用パッケージエアコンの火災について
日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター	平成26年 9月11日	材料試験炉(JMTR)第3排水系貯槽(Ⅱ)建屋内の水たまりについて
日本原子力研究開発機構 那珂核融合研究所	平成26年 9月16日	第1工学試験棟での火災の発生について
日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター	平成26年 9月19日	材料試験炉(JMTR)第3排水系貯槽(Ⅱ)建屋内での放射性物質の漏えいに関する報告書(第一報)の提出について(お知らせ)

日本原子力発電(株) 東海・東海第二発電所	平成 26 年 12 月 19 日	東海第二発電所廃棄物処理建屋 3 階送風機室 (B) における火災の発生について
日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター	平成 26 年 12 月 25 日	材料試験炉 (JMTR) 第 3 排水系貯槽 (Ⅱ) 建屋内での放射性物質の漏えいに関する報告書 (最終報) の提出について (お知らせ)
日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所	平成 27 年 1 月 16 日	J-PARC・物質・生命科学実験施設 (MLF) 第 2 実験ホールにおける火災について
日本原子力発電(株) 東海・東海第二発電所	平成 27 年 1 月 23 日	東海第二発電所廃棄物処理建屋 3 階送風機室 (B) における火災の発生について (原因・対策)
日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所	平成 27 年 1 月 26 日	J-PARC・物質・生命科学実験施設 (MLF) 第 2 実験ホールにおける火災に関する報告書 (第一報) の提出について (お知らせ)
日本原子力研究開発機構 那珂核融合研究所	平成 27 年 1 月 28 日	第 1 工学試験棟大実験室における遮断器の火災に関する報告書 (最終版) の提出について (お知らせ)
日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所	平成 27 年 2 月 19 日	J-PARC・物質・生命科学実験施設 (MLF) 第 2 実験ホールにおける火災に関する報告書 (最終版) の提出等について (お知らせ)
日本原子力研究開発機構 大洗研究開発センター	平成 27 年 3 月 10 日	材料試験炉 (JMTR) 第 3 排水系貯槽 (Ⅱ) 建屋内での放射性物質の漏えいについて (第三報) の提出について (お知らせ)

2) その他情報の提供

平成 26 年度 茨城県通報連絡訓練 実施状況集計結果について、平成 26 年 8 月 27 日に協定加盟全事業所に配信した。

(2) 事業所訓練等見学会の開催

1) 総合訓練見学会の開催

協定加盟事業所が行う緊急時を想定した訓練のうち公開可能な訓練について、加盟事業所への見学会開催の案内を行い、他事業所からの参加者を募り実施した。

①原子力機構 大洗研究開発センター 平成 26 年度 第 1 回総合訓練

〔開催日〕 平成 26 年 9 月 25 日 (木)

〔発災場所〕 原子力機構 大洗研究開発センター
高温工学試験研究炉

〔事故想定〕 原災法第 10 条第 1 項 全交流電源
装置事象に伴う全冷却機能喪失を想定

〔見学参加者〕 5 名 / 4 事業所



現地対策本部(所幹部)

②原子力機構 那珂核融合研究所 平成26年度
総合防災訓練

〔開催日〕 平成26年12月12日（金）

（事故想定）

変電用変圧器二次側ケーブルで火災、変圧器オイルに延焼・拡大し約10㎡が焼失。
負傷者はなし。

〔参加者〕 4名／4事業所



現地対策本部

③原子力機構 大洗研究開発センター 平成26年度 第2回総合訓練見学会について、諸般の事情により見学会を中止した。

〈総合訓練実施日 平成27年1月29日（木）〉

2) 緊急被ばく医療関連情報連絡会の開催

医療機関、原子力事業所及び緊急搬送関係者間等の緊急被ばく医療に関する相互理解を推進するために開催される緊急被ばく医療関連情報連絡会について、加盟事業所への開催の案内を行い、事業所からの参加者を募り、実施した。

①原子力事業所見学会（作業環境視察）

〔開催日〕 平成26年11月6日（木）及び7日（金）

〔施設〕 東京電力(株)福島第一原子力発電所

〔参加者〕 6日：7名／6事業所

（全参加者数19名）

7日：6名／5事業所

（全参加者数19名）



東京電力福島第一発電所

②原子力事業所見学会（医療処置訓練見学会）

〔開催日〕 平成26年12月5日（金）

〔事業所〕 積水メディカル(株)薬物動態研究所（発災想定場所）

水戸赤十字病院（医療機関）

〔参加者〕 16名／8事業所（応急処置訓練）

12名／5事業所（医療措置訓練）



積水メディカル(株)



医療機関（水戸赤十字病院）

③緊急被ばく医療関連情報連絡会

〔開催日〕 平成27年2月23日（月）

〔場 所〕 いばらき量子ビーム研究センター 東海村研究交流プラザ

〔内 容〕 ①平成26年度緊急被ばく医療に関する活動状況について
②平成27年度緊急被ばく医療に関する年間活動計画（案）について

③講演「突然の放射線災害に直面した地域医師が示す反応とは？」

講師 公立大学法人福島県立医科大学医学部

放射線災害医療学講座

主任教授 長谷川 有史 氏



講演会の様子

〔参加者〕 9名／7事業所

6. 緊急事態を想定した協力活動訓練

（1）緊急事態発生時における体制の整備

緊急事態発生時における体制の整備については、適宜活動本部員等の変更に伴う見直しを行い、体制整備を図った。

（2）総合訓練の実施

東海ノア協定に基づく平成26年度の通報連絡を主体とした総合訓練は、茨城県通報訓練に連動して、7月16日（水）に、核物質管理センター東海保障措置センターを発災場所として実施した。訓練結果としては、通報連絡体制に問題ないことを確認したが、準備期間が短く、説明も不十分であったことなどが反省点としてあげられ、今後の訓練に向けてブラッシュアップを図っていく。

7. 広報活動

（1）広報誌「東海ノア通信」の発行

協定加盟事業所との情報交換、共有化を目的に、協定広報誌「東海ノア通信」の定期発行（1回／3ヵ月）を行った。

① 第56号の発行（平成26年6月30日）

② 第57号の発行（平成26年9月26日）

③ 第58号の発行（平成27年1月8日）

④ 第59号の発行（平成27年3月30日）

(2) ホームページの維持管理

ホームページ情報の維持管理に努め、東海ノア協定に基づく活動状況を適宜紹介した。また、見易さの改善と検索の容易性向上を図り、公開用ホームページの全体構成について改善を図った。

1) ホームページの更新

- ①平成26年6月30日
- ②平成26年9月26日
- ③平成27年1月8日
- ④平成27年3月31日

以 上

平成26年度 年間活動基本計画実績表（原子力事業所安全協定運営要項第2条第1項に基づく）

	平成26年										平成27年		
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
1. 安全協力委員会							▲第31回(10/17)					第32回(3/18) ▲	
2. 活動推進幹事会			▲第67回(6/27)			▲第68回(9/24)			▲第69回(12/22)			▲第70回(3/5)	
3. 協力活動													
(1) 自主保安に係る点検協力活動				▲第1回(7/23) 日本原電 東海第二				▲第2回(11/20) 三菱原子燃料					
(2) 安全教育に係る協力活動													
1) 講演会等の実施予定調査				▲7/2		▲9/17			▲12/12			3/18 ▲	
2) 講演会等の案内	加盟事業所で開催される講演会・講習会等の活用（その都度案内）												
3) 安全教育研修								◆ 第1回(9/25)【中止】 原子力機構 人材育成センター				第2回(3/19) ▲ 原電 東海総合研修センター	
4) 消防に係る研修	実施時期・方法等調整/企画検討						▲9/10						
(3) 情報等の交換に係る協力活動	随時案内												
(4) 緊急事態を想定した協力活動		5/26	〔参考〕茨城県無通告通報訓練			8/26							
1) 訓練				▲7/16	ノア総合訓練（通報訓練） （茨城県通報連絡訓練に合わせて実施、抜打ち訓練）								
2) 協力体制の整備 （組織・施設情報含む）	随時見直し・整備												
4. 広報活動													
(1) 「東海ノア通信」の発行			第56号 ▲6/30			第57号 ▲9/26				第58号 ▲1/8		第59号 3/30 ▲	
(2) ホームページの運営			▲6/30			▲9/26				▲1/8		3/31 ▲	